

## 阿波市監査委員公告第 1 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 4 項の規定に基づき、定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果を公表する。

平成 28 年 3 月 18 日

阿波市監査委員 上原 正一  
阿波市監査委員 中野 修一  
阿波市監査委員 吉田 正

### 平成 27 年度定期監査結果報告書

#### 1 監査の概要

##### (1) 監査の種類

定期監査（地方自治法第 199 条第 4 項）

##### (2) 監査実施期間

平成 27 年 10 月から平成 28 年 1 月にかけて実施した。出先機関については、現地施設監査として平成 27 年 5 月から 12 月にかけて実施した。

##### (3) 監査対象部課

企画総務部	企画総務課、秘書人事課、財政課、危機管理課、契約管財課
市民部	市民課、環境衛生課、国保医療課、税務課、人権課 吉野支所地域課、土成支所地域課、阿波支所地域課 市場文化会館、吉野中央ふれあいセンター、柿原ふれあい会館
健康福祉部	社会福祉課、子育て支援課、介護保険課、健康推進課 八幡認定こども園
産業経済部	農業振興課、農地整備課、商工観光課
建設部	建設課、住宅課、地籍調査課
	水道課
	会計課
教育委員会	教育総務課、学校教育課、社会教育課、市場幼稚園 大俣幼稚園、市場小学校、大俣小学校、八幡小学校

	農業委員会事務局
	議会事務局
	監査事務局

#### (4) 監査の範囲

監査の範囲は、平成 27 年度に執行された財務に関する事務などを対象とした基礎的項目と合わせて、備品及び公用車の管理状況を重点的項目とした。

#### (5) 実施方法

実施方法は、各課より監査資料に基づき説明を受けた後に監査委員による質疑応答を実施した。その他、出勤簿や時間外勤務関係、出張関係等帳票類の確認を行った。また、備品及び公用車の管理状況については、本庁及び旧支所において現物確認を行った。

### 2 監査の結果

監査の結果、各課における事務の執行は関係法令等に準拠し、適正に処理されていると認められた。口頭により改善の検討を指示した軽微な事項については、改善措置を講じられるよう要望する。

備品及び公用車の管理状況については現物を確認した結果、適正に管理されていると認められた。引き続き、効率性や経済性に着目して管理されたい。

事務の執行、事業の管理状況等、組織及び運営の合理化に資する意見は以下のとおりである。

### 3 意見

#### (1) 自治体の経営について

公共性を担うのは行政であって、企業や住民は公共性を担えない（公共性は官、私的な利益追求は民）といった考え方は、もう時代にはマッチしないと言われている。

地方分権の時代になると、地域ごとに個性を持った政策展開が求められている。いわゆる、創意工夫が大切だ。

一国の総理大臣が経済人を大勢引き連れて、外国との貿易交渉に臨むということが、日常茶飯事に行われている時代である。

阿波市においては、農作物等の市のブランドとしての認定を行ったことは、画期的なことである。販売については、農協が担うそうだが、官も一体となって、販売促進に関わっていくことが重要である。

## (2) 本庁事務管理と支所役割について

本庁の事務体制の充実と支所の利便性は常に相反するところもある。専門性や権限機能を本庁に集中すれば合理的だが、市全体では広い地域のため簡単な行政事務は支所で済ませられるのが良い。そのため、専門的事務処理と利便性は常に課題として残る。

しかし、事務の簡素化と機能性を高めて、より市民のための事務処理を望む。

## (3) 市有財産の管理について

市管理の土地が適切に管理されているかチェックして、その市有財産の適切な処理と管理の維持を望む。

## (4) 各公共施設の一元的活用について

隣保館、教育集会所、公民館、老人集会所、その他地区の公共施設において、耐震対策の不十分な施設や老朽化してあまり利用されていない施設、更に少子高齢化による利用者の減少している施設、その他に現代生活の活動の多様化などを考慮し、これからの将来を踏まえて、各施設の社会教育、地域活動のために、建物等は一元的にして、その中の活動を多様の複合的な活動に整理していく方向性が必要だと思われるため、検討されたい。

## (5) 校舎、体育館等の耐震対策したもの以外の各教育施設の老朽化、雨漏り等の問題について

各教育施設について、長期的対策（総合的整備計画）と短期的対策（改善工夫）と応急的対策（修繕）で対応されているが、将来的に子どもの実態に合わせて統合したり新築したりすることと、短期的応急措置ですることと峻別して対応する柔軟性のある対応を望む。

## (6) 市内循環バスについて

市内でも移動スーパーが活躍していることが伝えられている。今、買い物難民をはじめとして一人暮らしの独居老人などの交通の便に困ることなどがある。

公共交通機関のない中で、生活の実態を踏まえ、小型でも融通性のある市内循環バスを考えてよいのではと思う。

## (7) 会計課の事務処理の合理化について

ア 事務の時期による偏りがあるようだが、年度会計の上では事務量に偏りがあるのは、ある程度仕方ないが、さらなる事務の量を工夫する方策が必要と考える。

イ 一部事務組合の会計を適正に処理するために、合理化とチェック機能にさらなる工夫が必要であろう。

(8) 水道事業会計について

- ア 有収率の向上努力が見られる。引き続きその方向へ地形的困難さを克服して有収率の向上を望む。
- イ 本年度は大雪と冷え込みで水道が断水して困った地域が出たが、ライフラインの根幹である水の確保に向けて、長期的耐震化と漏水防止への大がかりな工事を計画的に進められたい。